



『回顧』 子供たちの成長を感じた学習発表会

学習発表会委員長 高倉 明子（音楽専科）

日増しに冬の寒さを感じる季節となり、気がつけば今年も残すところあとわずかとなってまいりました。先月行われた学習発表会には、多くの保護者・地域の皆様にお越しいただき、誠にありがとうございました。

舞台発表では、どの学年のどの子供も、ほどよい緊張感の中でもてる力を十分に発揮することができました。本番を迎えるまでに、たくさん練習をしたり、子供同士で話し合いを重ねたりしてきた成果を発揮することができ、また一つ、子供たちの自信につながったのではないかと思います。5・6年生は、保護者鑑賞が終わった後に、積極的に会場の片付けをしてくれたり、互いのよかったところを発表し合ったりしていました。高学年として、共に立派に成長している姿を見て、とても頼もしく感じました。

作品展示では、それぞれの子供たちの個性が光る作品が、展示会場に整然と並び、素敵な空間を作り上げていました。一つ一つの作品に、子供たちの思いがたくさんつまっていて、思わずじっくりと見入ってしまいました。

学習発表会を振り返ってみると、どの子供も達成感に満ちた、とてもよい表情をしていたことが思い浮かびます。このことが、今回の子供たちの成長を物語っているのではないかと改めて思っているところです。

最後になりましたが、保護者・地域の皆様、大きな拍手と多大なるご支援、本当にありがとうございました。

1年生担任 川原 美砂

1年生は、「あさがおが おしえてくれたこと」と題し、生活科で朝顔を育ててきて学んだことを、詩や歌を交えて発表しました。とても緊張していましたが、合言葉の通り「**お**おきく・**は**つきり・**な**かよく・**の**びのびと、**きもち**をこめて」、頑張ることができました。場面ごとのグループで協力して身振りや台詞を付け足している姿から、自分たちで作上げた発表という気持ちが伝わってきました。今でも創作した歌を口ずさんでいて嬉しいです。

展示では、個性あふれる素敵な作品が並び、子供たちは友達の創意工夫を見つけ、笑顔で感想を伝え合っていました。



2年生担任 山元 美智子

舞台発表の「音楽劇 スイミー」では、観ている人に自分の表現が伝わるように、声の大きさや言い方、間の取り方などを考えながら台詞を言い、友達と「一致団結」して歌や鍵盤ハーモニカの演奏を一生懸命に頑張りました。また、作品展示の「窓をあけたら」では、子供一人一人の個性、持ち味のよさが広がり、素敵な作品となりました。

発表会を終えて、来年は、劇をやってみたい、あの学年の作品を作ってみたいという目標をもった子供たち。これを機会に、意欲をもってさらに大きく成長してほしいと思います。



3年生担任 金井 俊賢

3年生は、創作劇「71匹の子ぶた」を演じました。3年生用に作成した台本や楽曲は、3年生の力でとてもよい作品になりました。「ここのセリフはこう言いたい」「舞台上こんな動きをしてみたい」「衣装にこんなものを使ってみたい」など、子供たちから出たたくさんのアイデアが、舞台を彩ることになりました。はじめはセリフを言うだけだった子供たちが、練習をするたびに動きを入れたり、声に強弱をつけたりと変わっていく姿に、一人一人の「成功させたい」という強い思いを感じました。

それぞれのグループで協力することを大切にしていって、71人で一つの作品を作れたことに、子供たちみんながとても満足した様子でした。



4年生担任 廣瀬 陽子

4年生は、「一致団結し、工夫して分かりやすく、おもしろいパラリンピックの番組をつくろう」という目標を立てて取り組みました。

パラリンピックについては、夏休みから調べ学習を始めました。パラリンピックについての知識が深まっていくことで、調べたことを発表したいという気持ちも大きくなっていきました。

情報番組の台本は一から自分たちで書きました。練習のときから自分たちが楽しいだけではなく、聞いている人にも興味・関心をもってもらえるようにと考えて、発表の仕方を工夫していました。発表後の4年生は、お客さんが喜んでくれたことにとても満足していました。



5年生担任 高橋 望

5年生は、合唱「かならず かならず」と「With you smile」の2曲、合奏は「スターウォーズ」を披露しました。

発表会に向けて音楽室で練習していたときは、合唱の声がなかなか出ないことがありました。体育館練習になってから徐々に声量も上がり、きれいな歌声を響かせることができるようになってきました。

合奏には、休み時間の自主練習も含めて、意欲的に取り組む姿が見られました。拍子やテンポが変わる難しい箇所もありましたが、音楽の高倉先生の話をよく聞いて、全体で合わせていきました。

何よりも、全員揃って指揮者を向いて、真剣に歌ったり演奏したりしている姿が高学年らしく、かつ

こよく、大きな成長を感じることができました。



6年生担任 菅井 歩美

小学校最後の学習発表会。6年生は、「ユタと不思議な仲間たち」を演じました。

場面ごとに集まって本読みを始めた頃は、演じることに恥ずかしさを感じている様子も見られましたが、日増しに役になりきり、大きく堂々と演じられるようになりました。セリフを付け足したり、動作を変更したり、音楽を入れたり…、互いにアイデアを出し合いながら練習することで、劇がどんどんよくなりました。まさに、「みんなで創り上げる」という言葉がぴったりだと感じました。

みんなで創り上げた達成感や充実感を、最後に歌った歌詞にもあるように、大人になっても忘れないでいてほしいと願っています。



※学校ホームページの「学校日記」「学年ページ」「学校行事」にも、学習発表会の様子が掲載されていますので、ご覧ください。